

令和2年度地域少子化対策重点推進交付金(令和2年度第3次補正予算)実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 箕輪町 (都道府県: 長野県)
 本事業の担当部局名 企画振興課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.3 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組		
個別事業名	ライフデザインスクール事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	- 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	箕輪町の総合計画「箕輪町第5次振興計画」では、「①出会い・結婚の支援」、「②妊娠・出産の支援」、「③育児・子育て支援」、「④地域で支える子育て環境づくり」の4つを柱に、少子化対策を進めることを定めている。 「①出会い・結婚の支援」では、若者が結婚や出産を含め、将来を見据えた生活設計ができるように、啓発、支援活動を行うこととし、本事業は、「施策1:ライフデザイン(生涯の生活設計)への支援」に位置づけられるものである。また、「④地域で支える子育て環境づくり」では、子育て中の女性の力を社会で発揮してもらうため、個人の意識改革や安心して子育てと経済活動が両立できる仕組みをつくることとし、本事業は、「施策1:ワークライフバランスの推進」に位置づけられるものである。		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><現状と課題></p> <p>平成26年度実施した少子化対策町民意識調査(17歳)によると、結婚したい「25歳~29歳」56%、「20歳~24歳」26%、と20代で結婚を希望している者が8割を超えている一方で、「考えたことがない」が9%と約1割を占めている。初めての子どもは何歳の時に欲しいかでは「25歳~29歳」56%、「20歳~24歳」16%、「30歳~34歳」11%、考えたことがない11%という結果であり、高校生は結婚・出産に対し、漠然とは考えているものの意識して向き合ったことがない者も少なくない。</p> <p>一方で、平成26年度実施した少子化対策町民意識調査(20~39歳)では、出産について41%の者が「理想より遅くなりそう(遅くなった)」と回答。回答者の内訳では、契約・派遣・嘱託社員(68%)と無職(59%)と一際高くなっている。このことから、就労状況がライフイベントと深く関連していることがうかがえ、高校生が自身の結婚・出産を具体的にイメージするためには進路やキャリアも合わせて考えることが求められる。</p> <p>近年は社会の多様化、変化のスピード、価値観の拡散等の理由によりライフデザインを自ら描くことが難しく、これから大きな人生の岐路を迎える高校生にあっては、自分の「本当にやりたいこと」や夢の実現方法を出発点にして自身のライフデザインについて考える機会が必要である。</p> <p>町では、2018年からセミナーを実施しているが、参加者集めに苦慮している。自発的な参加者を増やすことが課題。 また、新型コロナウイルス感染症拡大により、進路や、ライフプランにあっては、結婚や妊娠時期へ影響があると考えられる。</p> <p><課題への対応></p> <p>町内在住・在学の高校生を対象として、結婚や子どもを産み育てることを自分のこととして前向きに捉え、妊娠・出産を含めた将来設計(ライフデザイン)を描く機会を提供するため、ライフデザインセミナーを継続実施する。高校生にとって、結婚、妊娠・出産、子育て等人生の様々なライフイベントは先の事柄として捉えられているため、少し身近な自分の「本当にやりたいこと」や夢の実現方法を考える機会を出発点にライフデザインを学ぶ。結婚、妊娠・出産、子育てといったライフイベントを軸に人生全体を考える内容とし、本人が意図しない晩婚化・晩産化を抑制する。</p> <p>ライフイベントの結婚、妊娠・出産については、新型コロナウイルス感染症による不安を軽減できるような内容にも触れる。 多くの生徒に興味関心を持ってもらえるよう、広報はチラシ配布だけでなく、セミナーを体験してもらうミニワークを事前に実施する。また、上伊那地域の高校の自己探求の授業時等に、セミナー概要説明やミニワークを行い、学校と協力連携し事業を進める。</p> <p>【実施方法】</p> <p>目的 ライフデザインが困難な社会を生き抜くための力をつける。 自分自身の人生を自ら作りあげていくための実践的な方法を学ぶ。 結婚、妊娠・出産、子育て等のライフイベントを軸として人生を考える。</p> <p>対象 箕輪町在住・在学の高校生 25人</p> <p>実施日数 2日(2日通い式)</p> <p>場所 箕輪町商工会</p> <p>※東京を拠点に中学生・高校生向けのキャリア教育に関する活動を行っている一般社団法人Unicul Laboratoryへセミナーの企画運営を委託予定。同社は、2018年から上伊那地域の高校生を対象にキャリアデザインセミナー「伊那谷サマースクールINみのわ」の開催実績があり、町は事業後援をしてきた。そこで培ったノウハウや高校生とのつながりを活かし、結婚、妊娠・出産、子育て等人生の様々なライフイベントを軸に人生全体を考えるライフデザインセミナーを実施したい。</p> <p>結婚、妊娠・出産、子育てに関する実体験を高校生に伝える社会人メンターは、地域企業の協力を得て推薦してもらう。これに加え、町内の事例が少ない分野(授乳期のテレワーク等、出産後も継続して働く女性等)については、当団体を通し都市部からも社会人メンターを補い、多様なロールモデルを確保する。</p> <p>また、町保健師、男女共同参画担当者等からライフイベントに関する知識を説明し、結婚し子どもを産み育てることを前向きに捉え、妊娠・出産を含めたライフデザインを考えてもらう。</p> <p>参加者を少人数のグループ(5人×5グループ)に分けたワークショップ形式で行う。地域や首都圏から集めた大学生を各グループにスタッフとして付け、参加者に近い立場からピアサポートする。</p> <p>新型コロナ感染症拡大状況により、首都圏のスタッフ等については、オンライン参加も含め事業を計画する。</p>		

○セミナー企画運営スタッフの募集(5月頃)

インターネットを利用し上伊那地域の大学生や企業及び首都圏の大学生からスタッフを募集する。

●打合せ1回目(首都圏スタッフ4人宿泊予定/オンライン対応)

1日目 町との打合せ

町保健師及び男女共同参画推進担当等と、講演内容・ワークショップの進め方について決定する。

2日目 地域企業の訪問(地元スタッフ)

事業を説明し、社会人メンター(子育てと仕事を両立している従業員)の推薦・参加協力をお願いする。

○参加高校生の募集(7月頃～)

チラシ等広報媒体を作成して上伊那地域の高校や自治体に協力を依頼し、高校生や先生方、保護者を対象とした広報を行う。上伊那地域の高校を訪問してミニワークを開催(首都圏スタッフはオンライン参加)し、セミナー参加を働きかける。

●打合せ2回目(首都圏スタッフ4人宿泊予定/オンライン対応)

1日目 上伊那地域で開催予定のキャリアフェスに参加し、地元企業に事業をPR

社会人メンターの推薦・参加協力を追加でお願いするとともに、興味を持った企業関係者を見学へ誘導する。

2日目 地域の社会人メンターや大学生スタッフとの打ち合わせ

高校生への伝え方やワークショップの進行方法等を確認する。

○セミナー開催(11月頃)

前日 会場準備、リハーサル(首都圏スタッフ4人宿泊予定/オンライン対応)

1日目 10:00～17:00 「人を知る(仮)」

仕事とともに結婚、妊娠・出産、子育て等を経験した社会人メンターから話を聞き、多様な人生に触れることで、自身のライフデザインの具体的なイメージを膨らませる導入とする。

さらに大学生スタッフが間に入りながら、社会人メンターと質疑応答を行い、ライフイベントへの理解を掘り下げる。

2日目 9:00～16:00 「過去・現在・未来の自分と向き合う(仮)」

過去の経験や現在の自分の価値観を見据え、将来の生涯設計(進路とライフデザイン)を考えてみる。

町保健師から身体の仕組みを学び、身体的な面から妊娠・出産の希望時期を考える。

町男女共同参画担当等から、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフイベントと、仕事の両立を考えるための知識や、夫婦のあり方について話をきく。

少子化対策担当から、町の現状や、少子化対策について話をきく。

ワークショップ形式で結婚、妊娠・出産、子育て等のライフイベントを軸に、自分自身の具体的なライフデザインを描く。

○報告書完成(3月頃)

協力企業等へ訪問(首都圏スタッフ4人宿泊予定)

今年度事業の実施結果を報告し、来年度の協力を依頼する。

【内訳】

委託料 ー円

企画立案・打合せ・準備

広報一式

ワークショップ提供費

行事保険

宿泊費

交通費 首都圏スタッフ

県内スタッフ

【留意点】

特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることがないように配慮する。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策には、十分配慮する。

<次年度以降に向けた事業の方向性>

町が主体的に3年関わり継続実施し、地域企業の社会人メンターやセミナー受講者を運営側のスタッフやメンターとして育成し、3年後には地域の有志団体により自走する仕組みを作る

中学生まで対象を広げ、より早い段階からライフプラン考える機会を提供

事業主体及びセミナー内容の見直しに伴い参加費を参加者負担とすることも検討

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

ライフデザインセミナー(長野県健康福祉部保健・疾病対策課)

	KPI項目	単位	目標値	現状値	
個別事業の内容	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	参加目標人数	人	20	
		参加目標人数の達成率	%	80	
		妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識を得られた参加者の割合	%	60	
		講義等を友人等に勧めたいと思った参加者の割合	%	60	
		ライフデザインの大切さを考えさせられた参加者の割合	%	60	
	・他自治体との連携・役割分担の考え方や具体的な方法 ※(注)5	上伊那地域の高校を訪問し、事業の告知授業(ミニワーク)・広報協力を依頼する。 上伊那広域連合へ広報協力を依頼する。			
	・民間事業者との連携・役割分担の考え方や具体的な方法※(注)6	町内企業を主とした企業からメンターとして社員に参加してもらいます。 町商工会に事業協力及び会場、オンライン対応となった場合のパソコン等貸出に協力していただきます。 町内学習塾を訪問し、事業の告知・広報協力を依頼します。			
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 学校教育課、商工観光推進室、企画振興課、健康推進課、子ども未来課 (配慮すること) 小中学生を対象としたキャリア教育を実施。町内企業の紹介、仲介、協力依頼。町保健師から身体について講義。少子化対策担当からの講義。			
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) セミナー企画運営 (随契の理由) 上伊那の高校生を対象としたセミナー教育の活動実績があり、かつ若年層の自己決定に資するワークショップのノウハウを有する団体を委託先としたいため。			
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 取組名: _____ 有の場合の担当部局: _____				

(注)
1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
2「各区分における取組の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。
3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。
※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
5「他自治体との連携・役割分担の考え方や具体的な方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方や具体的な方法を記載すること。
6「民間事業者との連携・役割分担の考え方や具体的な方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方や具体的な方法を記入すること。
7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないよう観念から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。